

## 中島 勲 議員（代表質問）

### 1 砂利採取業の規制等に関する条例について

- (1) 条例の目的を完全に否定はしないが、砂利採取法に基づいた申請から認可に至る過程の中で市が規制や監視指導ができる仕組みを県と協議するのが先でないか。
- (2) マスコミ報道以外に条例の目的・必要性・内容等について市民への周知がなされておらず、むしろ混乱が生じている。時間をかけ説明責任を果たすべきと思うが。

### 2 都市マスタープランについて

- (1) 策定にあたって市民アンケートの分析をも含め現状の課題をどのように認識し、将来像を策定したのか。
- (2) 今後のスケジュールである地域別の都市整備方針策定にあたり、住民の意見をどのように反映させるのか。
- (3) 人口減が確実となる中で用途地域（約670.8ヘクタール）やその中の指定状況の見直しは実施しないのか。
- (4) 今以上の郊外化は必要以上な財政負担になる。現在までの投下資本を有効に活用した政策を採用すべきと思うが。
- (5) 土地利用に大きな障害となっている“永代地上権”や今や全市的な課題である危険老朽家屋を含む“空き家・空き地”の対策をプランの中でどのように取り組んでいくのか。
- (6) 都市の将来像の中から前回あった旧北陸街道を中心とした歴史軸がなくなっているが、その理由は。

### 3 滑川市文化・スポーツ振興財団における雇い止めに係る係争について

- (1) 職場復帰と雇い止めの事実関係が争点と認識していいか。

(2) 提訴に至った経緯をどう考えているのか。

(3) 交流プラザの管理・運営について市との意思疎通に問題はなかったのか。

4 教育委員長の任期満了が近いが、これまでの期間での感想と今後の教育委員会行政に対し私見があればお聞きしたい。

## 浦田 竹昭 議員（代表質問）

### 1 砂利採取業の規制等について

- ・ 砂利採取業の規制等に関する条例に関する諸点について
  - ア 陸砂利採取40年以上の経過で、今更、なぜ、どうして条例制定なのか、その必要性は。
  - イ 地下水の保全に対する支障、地下水涵養、良好な水資源の確保への悪影響とは、その根拠は。
  - ウ 軟弱地盤で、適正な土地利用の確保への悪影響とは、その根拠は。
  - エ 宅地化、企業誘致等の障害となるとは、その根拠は。
  - オ 地下水脈が分断されるとは、その根拠は。
  - カ 地下水と海水とのバランスが崩れ、生態系に影響を与えるとは、その根拠は。
  - キ 埋め戻しによる土壌汚染、地下水汚染等の危険性があるとは、その根拠は。
  - ク 阻害要因がないことの確認を求めるとは、その中身は。
  - ケ 現行法、関連法規、基準との整合性は。
  - コ 県との二重行政ではないかとの指摘に対しての見解は。
  - サ 生コンや採石等の安定供給に支障を及ぼすことや骨材価格が高騰したとしても、ある程度やむを得ないとは、行政の発言とは思えないが、見解は。
  - シ 業界では、協議の場を求めているのに対し、認識に大きな違いがあり、協議は難しいとのことであるが、聞く耳を持たずということか、見解は。
  - ス 条例制定は、本当に3万4千市民のため、前向きな市勢の発展のためになる施策なのか、見解を。

### 2 砂利採取地ボーリング調査について

- ・ 補正予算案の衛生費の事業名・地下水保全対策費に関する諸点について
  - ア 今更、なぜ市単独のボーリング調査なのか、その目的、必要性について
  - イ 過去をほじくり返すことで、何をなされたいのか、そしてその意図は。

- ウ ボーリング調査の結果後、どのような措置、対応をされるのか、また、それが法的に適正なのか。
- エ 調査箇所は、農地に復旧された農家個人の資産であり、個人と民間事業者との契約案件に対し、市行政が介入することが、適切な行為なのか、見解を。
- オ 多額の税金を投入する、その効果、当市のメリット、前向きな施策なのか、見解を。
- カ 市行政が行う施策なのか、また、市の事業でもない案件に、多額の税金を投入することが、適切な行為なのか。見解を。
- キ 砂利採取の認可、管理、行政指導等の所管は、富山県であり、当市単独でのボーリング調査は、越権行為ではないのか、見解を。
- ク 建築廃材の処分、投棄において、責任の所在はどこにあるのか、見解を。(埋め戻し業者か、運送業者か、建築・土木請負業者か、下請け・元請け業者か、そして発注者か、行政は。)
- ケ ボーリング調査することが、本当に3万4千市民のため、当市の市勢発展のためになる施策なのか、見解を。

### 3 スポーツ・健康の森公園の埋設物について

- ・ スポーツ・健康の森公園の埋設物に関する諸点について
  - ア スポーツ・健康の森公園に産業廃棄物である汚泥の「カーバイトかす」が、埋設されている真実の確認、また当局の認知の確認。また、県や国への報告、了解はされているのか。
  - イ 公園整備に際し、地質調査・ボーリング調査をされたと思うが、その結果は。また「カーバイトかす」の埋設深さ、広さ面積、埋設量は。
  - ウ 公園整備に際し、掘削された「カーバイトかす」は、法規に基づいて処理されたと思うが、経過は。またマニフェスト処理、並びに発注者としての対応は。
  - エ 地下水汚染に影響はないのか。
  - オ 海水のバランス、生態系への影響はないのか。
  - カ 汚泥である「カーバイトかす」は、軟弱地盤への影響はないのか。
  - キ 小さな子どもたちの健康への影響はないのか。
  - ク 公園内に今後、未来永劫、産業廃棄物である汚泥の「カーバイトかす」が、埋設されていること、残置されていることに対しての見解を。

## 古沢 利之 議員（代表質問）

### 1 疾病の予防、早期発見対策について

- (1) 各種健診の受診率向上の対策
  - ア 特定健診
  - イ 各種がん検診
  - ウ 歯周疾患検診  
特に歯についての周知、啓発はもっと必要ではないか。
- (2) 他の保険者との情報共有（被保険者の受診状況など）を図れないか。  
他の保険加入者も市民はいずれ国保加入になる。
- (3) 任意接種小児ワクチンへの助成を検討されたい。

### 2 学童保育について

- (1) 新制度のもと、夏休みが終わった。課題はないか。
- (2) 「支援員資格」取得への取り組みは進んでいるか。
- (3) 資格取得で処遇の向上はあるか。
- (4) これまでの指導員の処遇改善はされたのか。
- (5) 保育中のけが等の対応は（児童の場合、指導員の場合）。

### 3 ほたるいかミュージアムのあり方について

- ・ 観光施設から社会教育施設への転換をはかるべき。
- ・ 市民が繰り返し訪れ、利用できる施設へ

### 4 農業の病害虫対策について

- ・ 大豆に「黒根腐れ病」が広がりつつあるのではないか。情報は得てい

るか。関係機関と対策について検討されたい。

## 青山 幸生 議員（一般質問）

### 1 滑川の魅力アップについて

- (1) 地域間競争が激化している現在において、企画能力が重要になっている。企画政策課の情報源はどのようなものがあるか。
- (2) 企画政策課内での各種提案は、どのようなものがあるか。また、1カ月でどのくらいの提案量があるか。
- (3) 例えば観光について、企画政策課、商工水産課、まちの魅力アッププロジェクトなどから提案があると思うが、どのように意見をまとめているか。
- (4) キラリンのきょうだいにあたる図案の募集には、どのようなストーリーを考えているか。
- (5) 滑川！オトナ部活の具体的な進捗はどうか。
- (6) 今やどこの市や町でも企業誘致が叫ばれている。他市との差別化はできているか。また強みは何か。
- (7) キラリンの絵本化に向けて募集したあらすじはいくつあるか。また、絵本完成はいつ頃か。

### 2 タラソピアについて

- (1) 平成26年度の株式会社WAVE滑川の決算内容を見ると厳しい状況だが、当局の見解は。
- (2) ほたるいかミュージアム周辺の観光も含めて考えた場合、タラソピアは廃止した方が良いと思うがどうか。
- (3) 今回、施設設備充実費で外壁の補修費が計上されているが、今後の施設の使い方も含めどのように考えているか。





## 中川 勲 議員（一般質問）

### 1 スポーツ観光事業について

- (1) 近年、スポーツ観光の取り組みが注目されているが、滑川市では考えられないのか。
- (2) ほたるいかマラソンやバウンドテニスなど、多くの市外からの参加者などに滑川市の観光を楽しむ企画はできないものか。
- (3) スポーツ・健康の森公園の陸上競技場、日医工スポーツアカデミー、野球場3面、東福寺野自然公園パークゴルフ場、みのわ温泉テニスコート、そして富山湾でのマリンスポーツなどの施設を利用していただきながら、市内観光をしていただくスポーツ観光（スポーツ・ツーリズム）を考えられないか。
- (4) 2018年に第31回全国健康福祉祭ねりんピックが富山県内で開催されるとのことであり、選手・役員1万人が集まるとのことで、滑川市観光PRの大きなチャンスではないかと思うが。

### 2 道の駅について

- (1) 道の駅を活用して地域の活性化を作り出すことをすべきではないか。
- (2) 今や道の駅を目的にした旅行が増えていると聞く。その対応をすべきではないか。
- (3) なぜ、環境にやさしい次世代自動車の普及に欠かせない充電インフラの整備をしないのか。

### 3 子ども・子育て支援事業について

- (1) 子ども・子育て支援事業がスタートしてから6カ月目となり、計画策定時に比べ状況は変わったか。
- (2) 待機児童はいないのか。また、埼玉県所沢市では、「育児休業と退園」という問題があったが、滑川市での考えはどうか。

- (3) 幼稚園での認定こども園の運営が進んでいるが、現況と今後の課題について伺う。
- (4) 教育・保育施設の提供区域を、市内全域1区域を基本とされているが問題はないのか。
- (5) 放課後児童育成クラブにおける現況と、また、課題はなかったのか。

## 谷川 伸治 議員（一般質問）

### 1 新幹線を利用した姉妹都市小諸市との交流事業について

- (1) 1学期には四つの小学校が訪問を終えたところだが、子どもたちの感想は。また学校側の考察について
- (2) 来年度も小諸市との交流事業を予定するのか。

### 2 小学生のほたるいか海上観光の体験について

- (1) 観光船を保有したので、小学生にほたるいか海上観光を体験させれないか。
- (2) 富山湾からの立山連峰の眺望を体験させれないか。

### 3 シャンバーグ市との姉妹都市交流事業について

- (1) 現在までの進捗状況について
  - ア 実施時期について
  - イ シャンバーグ市の子どもたちとの交流について検討されているのか。
  - ウ ホームステイについて検討されているのか。
- (2) 子どもたちの希望や要望を聞いてみてはどうか。

### 4 滑川市出身の谷井孝行選手の偉業をたたえて

- (1) 谷井選手を第19回滑川ほたるいかマラソンにゲストランナーとしてお願いできないか。
- (2) 来年のリオデジャネイロオリンピック出場が決定しており、壮行会の開催や市民大ホールにおいてパノラマビジョンによる応援を企画すべき

ではないか。

## 尾崎 照雄 議員（一般質問）

### 1 安全・安心について

- ・ ドクターヘリの運用開始に伴う市の対応について
  - ア ランデブーポイントの周知について
  - イ 降雪時のランデブーポイントの確保について

### 2 下水道事業について

- (1) 未整備地区（上市川左岸の魚躬地区や山加積地区等）の計画について
- (2) 起債の償還計画について

### 3 マイナンバー制度について

- (1) 周知対策は万全か。
- (2) セキュリティ対策は万全か。

### 4 小学校教育について

- ・ 小学校高学年児童を対象に市議会見学会を行ってはどうか。



## 角川 真人 議員（一般質問）

### 1 平和学習について

- (1) 原爆ポスター展の今後について
- (2) 子どもたちに向けての平和の取り組みについて

### 2 空き家問題への対策について

- (1) 空き家対策に関する検討委員会の設置等の動きはどうなっているか。
- (2) 市街地空き地空き家活用支援事業の利用状況はどうか。
- (3) 「特定空家等」への対応はどう進んでいるか。

### 3 介護保険について

- (1) 地域支援事業への移行の準備はどうなっているか。
- (2) 市内の介護事業所に対する介護報酬の引き下げの影響はどうだったか。





## 水野 達夫 議員（一般質問）

### 1 砂利採取業の規制に関する条例について

- (1) 今回の条例制定に関しては、当該市町村が陸砂利採取に際し、関与できる仕組みを作ることが主たる目的だと思う。現行の砂利採取法では、市町村長は災害の発生するおそれがあると認められるとき以外は、都道府県知事等に要請できないと理解するが、市の見解はどうか。
- (2) 8月13日の新聞報道で明らかになった栗山地内での新幹線橋脚基礎工事の際に産業廃棄物が大量に出てきた事案は、なぜ今、このタイミングで明らかになったのか。
- (3) 滑川市の土地利用計画を考えると、工業ゾーンの適地は、滑川IC周辺からスーパー農道沿いだと思う。今回、改めて陸砂利採取された図面を見ると、工場誘致可能な土地がかなり制限されてくると思うが、市の見解はどうか。

### 2 タラソピアの今後の方向性について

- (1) 先の3月定例会において、私の質問に対して、市長は、「費用対効果を考えると、とてもじゃないけど、民間ならばもう潰れており、これは考えなければいけない。」と議場で発言されました。3月から今日まで、市長はどのように考えられたのか。
- (2) なぜ今議会において、タラソピアの外壁の補修に関して、必要最小限の修理費が予算計上されたのか。
- (3) タラソピアの今後の方向性について、建物や機械設備の現況、現在のニーズ、将来的な収支の見込みや採算性、維持管理費用等を総合的に勘案すれば、自ずと答えは出てくると思うがどうか。

### 3 滑川の海岸部での新たな地域資源の掘り起こしについて

- (1) 滑川漁港付近には、全国のダイバーが集まってくる多種多様な魚を鑑

賞できるスポットがある。滑川の新しい地域資源と位置付け、これら珍しい魚のパネル展示等をほたるいかミュージアムで行うことで、オフシーズン等における集客効果は見込めると思うがどうか。

- (2) 年々ロコミ等で、滑川を訪れるダイバーが増えてきている。ダイバーの皆さん方の要望であるトイレやシャワー設備等を検討できないか。

#### 4 小規模多機能自治について

- (1) 島根県雲南市で取り組まれている「地域自主組織」の取組みを参考に、これからの時代を見据えると、小規模多機能自治を推進させる取組みが求められていると思うがどうか。
- (2) 滑川市の町内会別に年少人口率と高齢者率の分布図を作成してみた。まずは、分布の似通った地域での課題等を拾い上げる「円卓会議」を実施し、今後の解決策を検討していく仕組みが必要ではないか。
- (3) これからは、「協働」から「総働」へシフトする時代だと思う。そこに向かって、まずは、地域が自主的に動く組織づくりが必要かと思うがどうか。

## 竹原 正人 議員（一般質問）

### 1 子どもたちの学習・運動環境の向上について

- (1) 平成 27 年度全国学力・学習状況調査の結果について、本市の評価と対策は。
- (2) ICT教育についての本市の見解は。
- (3) 小・中学校における夏休みの宿題は適当であると考えているのか。
- (4) 夏休み中の学びの場として、学校を利用し外部講師を活用しているが、本年の取り組み状況と今後のあり方についての見解は。
- (5) 土曜授業のあり方について、昨年のアンケート結果や本年の取り組みを参考に、次年度以降どう改善していくのか。
- (6) 学校での熱中症対策はしっかり行えたか。
- (7) 中学校での部活動について、ニーズ等を調査し、再編等は考えていないのか。
- (8) 不登校児童・生徒への対応は。
- (9) 本市の奨学金制度の現状と実績は。

### 2 体育行政について

- (1) 総合体育センターアリーナに空調設備が設置されたが、稼働状況と利用者からの声をどう捉えているのか。
- (2) 将来のオリンピック選手を輩出する取り組みは。
- (3) スポーツ振興基金について、目的と用途は。



## 高木 悦子 議員（一般質問）

### 1 家庭での防災のレベルアップを図れ

- (1) 昭和56年の建築基準法改正以前に建設された木造住宅、更に平成12年の改正以前に建設されたバランスの悪い建物について耐震改修が必要とされているが、昭和56年以前建築の木造建築は何戸ほどあり、その内耐震改修が行われたものは何戸あるのか。
- (2) 地域防災計画の地震編の災害予防計画の中に「耐震化に関する市民への啓発に努める」とあるが、固定資産税の通知と共に、昭和56年以前の木造住宅所有者に耐震補助のチラシを同封してはどうか。滑川市の建設関連業者に対して、部分耐震改修でも補助が出るようになったことを告知しアピールしてもらいたい。
- (3) 自主防災活動に対して補助をしているが、現在の自主防災組織の数並びに組織率と、補助制度を利用している組織の数はどうか。
- (4) 補助している活動内容で、防災訓練などのソフト面に対する件数と、資機材の購入などハード面の件数の内訳はどうか。また補助内容は、過去と比較してハード面の整備から、ソフト面へのシフトは見られるか。
- (5) 災害発生時に機能しなければならないのは、行政としての防災の前に地域としての防災であり、更にその前に家庭や個人レベルでの防災が重要だと考えるが、災害の少ない富山ゆえ、個人の備えが乏しい。個人や家庭の万が一の備えを充実させるために、どのような対策をしているか。
- (6) 防災講演会においても、話を聞くだけから、我が家を振り返るきっかけの場として、目で見、手で触れる工夫は出来ないか。あるいは、常設で防災グッズを展示し触れられる場所は作れないか。
- (7) 昨年末の防災士と県の自主防災アドバイザーとの意見交換会を経て、今年度の取り組みに、反映されたことはあるか。
- (8) 家庭の防災意識を高めるには、児童・生徒からのアプローチは効果が高いと思われるが、家の中の家具転倒などの安全点検や備蓄品の大切さなど、子どもたちが家庭に持ち帰って話題にする取り組みはできないか。

## 2 交流プラザ職員解雇に係る裁判について

- (1) 滑川市文化・スポーツ振興財団の嘱託職員を平成25年3月の解雇予告から、解雇、復職要望、提訴、裁判、和解に至っていない現在までの経緯は。
- (2) 企業経営の視点から、解雇の必要性を全面否定はしないが、民間企業で解雇を行う場合にも、後々問題が起きないように細心の注意を払っている。今回の解雇に関するこれまでの対応に問題があったという認識はあるか。
- (3) 訴訟費用、弁護士費用、現時点で910万円という、これから増加し続ける可能性がある和解金の負担は、全額、滑川市民の税金で賄わなければならない。裁判に入る決断をした見通しが甘かったのではないか。
- (4) 労働組合加入後の雇用再開の申し出、提訴のとき、判決ではなく和解が勧告されたときなど、対応を判断するタイミングは何度もあったはずだが、その時に現状の結果を招いた判断を下したのは誰か。
- (5) 現時点の910万円の支出についても、経緯いかんによっては住民監査請求、更には住民訴訟の対象になりかねないという懸念がある。その責任は誰にあるのか。

## 3 自分に甘く民間に厳しくないか

- (1) 「滑川市開発指導要綱」第18条には「事業者は、富山県景観条例の規定を遵守し、開発行為等及び建築物等の外観について計画するものとする。2. 建築物等の外観は、周辺の景観と調和するよう原色及び蛍光色を使用しないものとし、低彩度のものとするよう努めるものとする。」として、民間の事業者に対して、つまりは共同住宅を含めた建築物に対して、景観を守るように滑川市は求めている。それに対して、滑川市が建設する児童館が、原色を使い低彩度のものを求める議会の声も拒絶し、行田公園との調和を壊すことも配慮されずに建築しようとしている。市民には規制をする一方で、市当局だけは規律を守らなくても構わないという考えを持っているからか。
- (2) スポーツ・健康の森公園一体の敷地には、産業廃棄物であるカーバイト

かすや当時の工場跡のコンクリート片が多数存在しているところは、滑川市も認めている。「砂利採取業の規制等に関する条例案」において、事業者に対して「地下水の保全に対する支障」が無いことを確認せよとしている。富山県による現状の地下水の水位や水質検査などにおいて異常が無いとされていることに対して、事業者に加重の負担を強いようとしている。その理由は、地下水を犯す「懸念」があるからということだが、市民の中から、滑川市の施設であるスポーツ・健康の森公園の地中にあるカーバイトかすに対する地下水への影響を「懸念」する声が出ている。カーバイトかすが地下水に影響を与えていないことを、まずは滑川市自らが証明をして、事業者に対してお手本を示すべきではないか。市当局ができないことを、事業者に対してだけは強制させるのか。

- (3) 科学的な根拠を示さず、法の遡及効を理解せず、現在の法律以上の規制を「懸念」だけで付加しようという姿勢は、行政の正しい姿とは思えないがどうか。





## 開田 晃江 議員（一般質問）

### 1 公共施設の今後について

#### (1) タラソピアの今後について

- ・ 観光施設として開設されたタラソピアを滑川市の健康増進施設として、県内外に売って出ればいいのか。
- (ア) 今、タラソピアの閉館との報道に利用者の皆さんがとても不安を抱いておられる。2年間とか期限を切ってもう一度取り組み直してはどうか。閉館はいつでもできるし、何のためにタラソピアがあるか、どのように使うか考える時期では。
- (イ) 2018年から厚生労働省は様々な医療保険事業者に対し、健康づくりを競わせる制度を導入すると報道があった。今がチャンスでは。
- (ウ) 利用促進キャンペーンで、各事業所に健康づくりの営業を。また県内の整形外科病院にポスター掲示を依頼しては。
- (エ) 市民健康センターと介護予防の両面でタラソピアに職員の派遣を。
- (オ) タラソピアの申込受付をすると同時に簡単なカルテを作成して、健康専門施設をPRしては。
- (カ) 観光面（ほたるいかミュージアム）と健康福祉面（タラソピア）と2本立てで行く考えは。
- (キ) 市役所職員やご家族の方々も率先して利用する仕組みを。
- (ク) 医療費削減、健康寿命延伸都市を掲げている滑川市にタラソピアという施設があった。時代がついてきたと思うが、健康プラザにするという考えはいかがか。

#### (2) 東福寺野自然公園研修センター青雲閣の今後について

- ・ 耐震工事が終了していない建物に、昨年よりも宿泊や研修の利用者が増えている。施設や関係者の皆さんの努力であると思うが、安心と安全のため今後の予定は。

### 2 安心・安全なまちづくりの中で

- ・ 防犯カメラ設置に対して補助金制度はあるか。
- ・ 企業や施設の協力を得て、滑川市は至る所に防犯カメラを設置することで犯罪の抑止力強化を。

